

## 1 沿革

昭和32年 林野庁の施設等機関として、中央林木育種場、北海道林木育種場及び九州林木育種場を設置

昭和33年 同じく東北林木育種場及び関西林木育種場を設置

昭和34年 中央林木育種場を関東林木育種場に改称

昭和53年 国有林野事業特別会計から一般会計へ一部移替

平成3年 各林木育種場を再編整備し、北海道、東北、関西、九州の各育種場を内部組織とする林木育種センターを設置

平成5年 一般会計への移替を終了

平成7年 林木育種センター本所を水戸市から十王町（現在の日立市）へ移転

平成13年 中央省庁等の改革に伴い、独立行政法人林木育種センターへ移行

平成19年 独立行政法人森林総合研究所と統合し、森林バイオ研究センターを設置

平成27年 国立研究開発法人森林総合研究所林木育種センター及び国立研究開発法人森林総合研究所森林バイオ研究センターに名称変更

平成29年 国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所林木育種センター及び国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所森林バイオ研究センターに名称変更